

東京ガス・ボードセイリング部三人衆
三浦のサムライスラロマー、
なんて誰も呼んではくれないけれど、
おとーさんたちはバカッパヤ。
タイを締めればスーパーリーマン、
ブーム握ればトップアマ。
家庭円満高額所得(推測)
そのフトコロを、
その健康を、
そのシナジーを、
このおとーさんたちは
いかに実現したのか?

Motoki Nakajima
中嶋 基さん

AGE=38
東京ガス(株)お客様保安部
ガス機器安全高度化グループ
チームリーダー

WSF CAREER=19years

MAIN RESULT

- 2008 JPW ダウンウインドランキング:14位
- JPW アップウインドランキング:10位
- 2008 JPW アマチュアスーパースラローム:5位
- 2005 JCBA 選手権大会優勝
- 2004 JCBA 選手権大会優勝

Masami Minoguchi
美濃口 政己さん

AGE=44
東京ガス(株)ライフバル品川
五反田事業所・所長

WSF CAREER=23years

MAIN RESULT

- 2008 JPW 沖縄カップ:11位
- 2008 JPW ダウンウインドランキング:15位
- 2007 JPW アマチュア選手権:3位

Daisuke Anzai
安齊 大輔さん

AGE=34
東京ガス(株)神奈川県エネルギー部
官公庁営業グループ 係長
(横浜市地球温暖化対策事業本部 出向)

WSF CAREER=17years

MAIN RESULT

- (ロングボード)
全日本学生選手権:3位(95、96年)
全日本大学対抗戦:優勝(97年)
全日本選手権(レースボードクラス):優勝(97、02年)
伊勢湾カップ:3位(02年)
全日本実業団選手権:優勝(97、99、00、01、02、03年)
- (ショートボード)
全日本実業団スラローム選手権:優勝(05年)
JPWアマチュアスーパースラローム:2位(06、07、08年)
JPWアマチュア選手権:2位(07年)
JPW 検見川カップ:ベストアマチュア(07年8位、08年12位)
JPW 梅園カップ:ベストアマチュア(07年7位)
2007 JPW 総合ランキング:10位
2007 JPW アップウインドランキング:6位
2007 JPW ダウンウインドランキング:11位

vol #02

AGE 35-45 XXX RATED WINDSURFERS

止めてくれるな おっかさん
ブーム握ると ぶち切れる
スーパーリーマンスラロマー

photography by TAKI (portraits), M.Nakagawa(action)
screenplay by TOKO



Q1
ウインドサーフィンを
始めたいきさは?

Q2
東京ガスに就職したのは
ウインドサーフィンにも一因が?

Q3
こんなにも長期間、なぜ、ハードな仕事と、
ハードコアなウインドを両立し、
シナジーを維持しえたのですか?

Q4
金もヒマもあって、
いくらでもウインドできる境遇だったら、
案外ウインド、しないのでは?

Q5
道具を新調するとき、
オクサマが怖くありませんか?

Motoki Nakajima

中嶋 基さん



都立大学(現・首都大学東京)機械工学部2年の
とき、夏季講習でヨットとウインドサーフィンを
体験、かねてより憧れていたウインドサーフィンを
始める。
道具を買った茅ヶ崎のプロショップには十数人の
コースレーサー(レースボードクラス)がいて、彼ら
に可愛がられもし、自然、自身もレースを始める。

「ショップの先輩コースレーサーの友人に東京
ガスの方がいましてね、社会人になって、こん
なふうにはウインドできるんだったらいいなあ、
それがひとつの動機になったことは確かですね」
じっさい、社会人になってからのほうが、ウイン
ドサーフィンもより楽しめるようになりましたね。
大学時代は理系だから単位も厳しくて週末しか
海に行けない。学生だから金はない。クルマは数
万円のボンコツ。
社会人になったら、給料は貰える、逗子や館山に
保養所がある(当時)、駐車や艇庫や宿の心配をし
なくていい、ウィークデイしっかり働いた週末は
より開放感がある……。自由な学生時代を終え、
社会人になる前、ブルーになったりするらしいけ
ど、僕は逆に、ワクワクしていました。

「社会人になって、ずっと、実業団チャンピオ
ンになるという目標に向かってきたこともあり、
迷いなく、ごく自然に両立してきましたね」
94年95年になって、だいぶレース参加者も減り
ましたが、やっとうちの安齊に勝って優勝できま
した。
当時は独身でしたから、平日は仕事、週末は海、
という生活が当たり前で。
ここ(三浦)に来るようになって、フォーミュラと
スラロームをやるようになると、(レースボード
とは)かかる金額も違うし、結婚もし、二人目の子
どももできて、昔のようにストレスなくというわ
けにはゆきませんけど。

「そうなりゃいいなあ、いくらでもウインドで
きるなあって思いますけど、そうですね、案外、
つまらないかも知れませんかえ」

「うちはカミさんも働いていて、夫婦別会計です
から問題ないですよ。それに、もしウインドしてい
なかったら、カミさんも違っていたと思います(笑)
いまのカミさんとは、ウインドを続けることを条件
に、結婚しましたから」



08ジャパンサーキット第3
戦。甲子園浜独特の大き
く振れる弱いオフショア
下、難しいレースとなった

Masami Minoguchi

美濃口 政己さん



高校卒業後、84年、東京ガス入社。22歳の時、
社の先輩に誘われ、ボードセイリング同好会(当
時)に参加。
サーファー艇と、レース用のロングボードしかなく、
情報もなく、独学で、プレーニングするのに
4、5年かかった記憶があるが、レース志向の同
好会先輩の影響で、ろくに乗れないうちからレー
スに参戦。
以後24年間、ウインドサーフィンから離れるこ
となく、週末は決まって海。

N/A
(美濃口氏は東京ガスに入社してからウインド
サーフィンを始めた)



五反田事業所にて、品
川区23万契約の、安全
点検、検針、徴収を
一手に引き受ける

「そこに仲間がいたからじゃないですか、東京
ガス・ボードセイリング部に。
まだ中嶋や安齊が入る前、十数名のレーサーがい
て、当時は実運も盛況で、実運の大きなレースや、
伊勢湾カップには240艇とか参戦して」
遠征先の海でライバルと出会ったり、仲間内で
勝った負けたと……。仲間がいなかったらとても
続いてなかったでしょうね。

「金あってヒマもあつたら、どうだろう、ウイ
ンドはやらないような気がするなあ、だったらな
にをやってたんだろう? わかんないなあ、ウイン
ドサーフィンやめたらやることないもんなあ、や
ることがないおれって想像できないよなあ……」

「余分な金もってヘンなことに遣うくらいなら
ウインドに全部遣っちゃえってってますよ(笑)」
ええ、セイルも毎年換えますよ、6サイズ。おれ
ら3人でTEARS の売り上げ3割くらい支えて
るんじゃないですか(笑)



08JPWアマチュアスー
パースラローム、津久井浜、
重量級の美濃口、初日の
全レースを12m²で

Daisuke Anzai

安齊 大輔さん



明治大学法学部に入学と同時にWSF部に。(高
校時代想いを寄せていた娘が逗子のウインドサー
ファーだったとか)
ストイックな同大学連で鍛えられ、2年のときに
全日本学生5位、4年のときにキャプテンとして
明大を団体戦優勝に導く。

「ウインドは卒業まで」との思いがあった。
悔いがないくらいやりこんだと思えし、アルバイト
をしていたが、道具や遠征のために、親に経済
的負担をかけてもいた。
法人を相手に仕事ができる「川上の」企業に就職
し、社会に貢献したいと思った。
面接で、「次のレース、という短期的目標を設定
し、達成するための方法論、キャプテンとして小
集団をまとめてゆくコツ」をぶち、NTT、日本鋼
管(当時。現・JFE)、東京ガス、3社の内定を得る。
東京ガスには優れたレーサーだった明大学連OB
もいて、社でまた共にやろうと誘われもしたが、
同社を選んだのは、だから、ウインドサーフィンの
ためというわけではなかった。

「ウインドは卒業まで、もうやりつくした、との
思いで就職しましたが、社会人になってかえって、
自分にとってのウインドサーフィンの大きさを感
じたんです」
ウインドサーファーとしての自分は、社会で、戦い、
自身を保つ、バックボーンだと気づいたんです。
あれほど没頭したと思えた学連でのウインドサー
フィンも、実はたいしたことではなかった。
社会人になって、限られた時間でトレーニングす
る集中、密度に較べたら。
(取材者註：東京ガス入社後、安齊氏は、母校明大
のコーチを務め、自身、実業団全日本選手権に6
度も優勝している)

「そうですねえ、かといって土日を寝て過ごす
のは非常にもったいないし、そういう人生に魅力
を感じませんし」
だからやっぱり海に来て、とはいっても、必ずし
も前向きにトレーニングしなきゃと追われるん
じゃなくて、仲間とバカバなしして笑って、愚
痴ったりもして……。
新婚旅行でモルジブに行ったんですけどね、乗ろ
うと思えば毎日乗れるんだけど、2時間も乗れば
おなかいっぱいで、海に出ない日もありましたよ。

(取材者註：この質問は尚早だった。氏はモル
ジブへの新婚旅行から帰ったばかりだった。
奥様もTEARS のメンバーで、氏が沖で負傷し
流されたときレスキューに走り、救急病院まで付
き添い、それで「やられた」とのことです)



08JPWアマチュアスー
パースラローム、津久井
浜。過去2年2位に甘んじ、
3度目の正直に挑んだが

給料貰える、仕事できる、ウインドできる、って早く社会人になりたくてうずうずしてましたね
中嶋 基

余分な金もってヘンなことに遣うくらいならウインドに全部遣っちゃまえていってますよ、カミさん(笑)
美濃口政己

あれほど没頭したと思えた学連でのウインドサーフィン、実はたいしたことではなかった。社会人になって、限られた時間でトレーニングする集中度、密度に較べたら。
安齊大輔

それにしても、なんでウインドサーフィンは、アラフォーばかり熱いんでしょうかね、若い人が定着せずに...

「そうですね、東京ガス・ボードセイリング部は26名ですが、活動的なのは我々を含め少数です。いまだ、いちばんの若手が34歳の安齊ですから」部で、ボランティアで社員向けスクールをやるんですけど、新入女子社員は来なくて中年ばかり(笑)いまの若い人は、スポーツに限らず、選択肢が多くて、手軽に楽しめるものが多いから、ウインドサーフィンみたいに、ものにするのが大変なことは、敬遠するんじゃないですかね。簡単に手に入るものには、それだけの価値しかないんですけどねえ。ウインドサーフィンに憧れてる人は多いんですよ、真価を伝えたいんですけどね。

「年を取ると、ある程度偉くもなるから、責任とかつきあいたか、平日、自由になる時間がどんどん減ってゆくでしょ、そのぶん、おれなんか週末の価値が逆に上がってるっていうかね」体力？ そりゃあ落ちてくけど、ロングボードみたいに漕がなくて(バンピングしなくて)いいし、ある程度道具に頼れるから。でも疲れは残るね、おれなんか腰にくるから、こないだマッサージチェア買ったんですけどね。

「明治の同輩も、ほとんど(ウインドサーフィンを)続けていないんですよ。年に一回、学連の同輩と、同窓会じゃないけど、ウインドトリップするんですよ、04年はサイパン、05年は台湾、06、07、08年は沖縄に行っただですよ。そのときは彼らも、やっぱウインドサーフィン最高だなぁ、また始めようかなあっていうんですけどねえ.....」ウインドサーフィンは、いろんな意味で時間がかかりますしねえ。学生時代、いま思えば、がつがつやってるだけで、レベルは低かった。勝とうと思えば、勝つのはそう難しくなかった。いまの自分のほうが明らかに上手いし速いんですよ。当時があるからいまがあるんですけどね。でも、山田さんや国枝さん、香村さんとはものすごい差がある.....。

ウインドサーフィンにおける、現在の目標はなんですか？



重要インフラたる都市ガスの保安、神経も体も使う激務である。背後は同社が開発した燃料電池

「レースじゃないよ、レースじゃなくて、吹いた練習海面での、直線の艇速なら、おれ、山田(昭彦)プロに遜色ないと思うんだ、いやマジで、身長178cm、体重95kg、天然ウエイトジャケット装備してっからね(笑)ワンレグでいいから、レース本番で、山田プロにおれの背中を見せてやりたいね。それと、MRC(三浦レーシングクラブ)初年度からのメンバーであるおれとしては、同じサラリーマンながらプロ登録した、浦上やカクちゃん、北原たちには、くらいついていきたいね。

「3年連続で2位で終えてる全日本アマ・スラロームで優勝することですね。06年の2位は出来すぎで、07年は一発勝負で負けて、08年は北京代表の富澤にやられたんですけどね」どうすれば優勝できるかは分かっているんです。たとえば、平日、会社から帰ったとき、何をすべきか、しちやいけないか、でもそれができていない。だから、目標は、なんていっちゃいけないんですけどね。

ウインドサーフィンは、仕事や家庭に、ジーンセイになにを与え、なにを奪っていますか？

(ウインドサーフィンに与えられているのは)「要するに、自分が居られる場所、じゃないですかね」事故処理、人間関係、仕事にはやはりストレスがありますし、週末家にいたら、僕、神経質なほうだから、ヨメの掃除のユルさが目について、小言ばかりいって、子どもも泣いているかも知れませぬ」週末は「ここ」にいる。自分の居場所がある。でもそれは逃避じゃないんです。カミさんも子どもも連れてくる。生活の2面性じゃない。会社にいるときの僕と、ここにいるときの僕は、明らかに違うんですけどね。

「そりゃあ(ウインドサーフィンには)いっぱいもらってますよ、具体的に何を？」と聞かれても考えたことないから困るけどね」今日頑張ったら明日は海だな、明日は吹きそうだなと、ワクワクして、毎週末、海だよ、そんな時間を23年間、もらってたよ。吹きそうになくとも来るよ、三浦じゃ、一日いて乗れないほうが珍しい。ことにフォーミュラができてから。8割は乗れるね。

「さっきいったように、自信。海での、健康的で貴重な時間、ウィークデイはいつも、いろんな言葉が頭の中に渦巻いていますけど、海に出ていると、気づくと2時間経っていて、なにも覚えていない、なにも考えていないんですね、波と風だけを見ていて。体は疲れますけど、脳にはいいんじゃないですかね」



横浜市に向向、市の公共施設にソーラーシステムを導入するなど、低炭素化に取り組んでいる

Motoki Nakajima
中嶋 基さん
 AGE=38
 SAIL NO=45-45
 ADVANTAGE=南方に遠征すると、風水の関係か(?)じぶん以上の実力を発揮すること

EQUIPMENTS
 FOMULA BOARD ×1
 SLALOM BOARD ×4
 WAVE BOARD ×1
 UPWIND SAIL ×2
 SLALOM SAIL ×7
 WAVE SAIL ×2

Masami Minoguchi
美濃口 政己さん
 AGE=44
 SAIL NO=45-1
 ADVANTAGE=ナチュラルウェイトジャケット装備。強風直進では山田プロに劣らぬ艇速

EQUIPMENTS
 FOMULA BOARD ×1
 SLALOM BOARD ×4
 WAVE BOARD ×1
 UPWIND SAIL ×2
 SLALOM SAIL ×7
 WAVE SAIL ×2

Daisuke Anzai
安齊 大輔さん
 AGE=34
 SAIL NO=45-10
 ADVANTAGE=タクティクス、経験値、集中力。気持ちは熱く、判断は冷静

EQUIPMENTS
 FOMULA BOARD ×1
 SLALOM BOARD ×3
 WAVE BOARD ×1
 UPWIND SAIL ×3
 SLALOM SAIL ×5
 WAVE SAIL ×2

